

北薩感染症情報

2023年第14週(4月3日~4月9日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル 基準値	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始 基準値	終息 基準値	定点報告数		前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	5	8	1.14	↗	-	10	20	4.00	↗	-	
小児科定点	RS	-	-	-	-	21	5.25	↗	-	1	-	-	↓	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	1	0.33	↗	-	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	-	-	-	→	-	3	2	0.67	↓	-	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	10	16	4.00	↗	-	6	4	1.33	↓	-	
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	-	1	0.25	↗	-	-	-	-	→	-	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	突発性発疹	-	-	-	-	1	0.25	↗	-	-	1	0.33	↗	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	1	0.25	↗	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	-	3	-	↗	-	/	/	/	/	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-		
報告数合計		-	-	-	15	51	/	↗	/	21	28	/	↗	/	

<注意報・警報>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				5W	6W	7W	8W	9W	10W	11W	12W	13W	14W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	8.29	6.86	4.86	1.86	2.14	1.86	1.71	0.43	0.71	1.14
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	2.00	0.50	-	2.00	1.50	2.00	2.75	1.50	-	5.25
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	-	-	0.50	0.25	0.25	-	-	-	-	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	18.00	24.00	12.50	7.25	5.25	4.75	5.50	2.75	2.50	4.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-
	手足口病	5.00/2.00	-	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	0.25
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発疹	-	-	0.50	0.25	0.25	0.25	1.25	0.50	0.50	0.50	-	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.25	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	1.00	2.00	-	5.00	-	2.00	1.00	-	-	-
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				5W	6W	7W	8W	9W	10W	11W	12W	13W	14W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	3.00	0.40	0.20	0.80	2.00	12.20	8.40	1.40	2.00	4.00
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	0.67	2.33	0.33	3.00	2.67	2.33	0.33	0.67	0.33	-
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.00	0.33	1.00	0.67	0.33	-	0.67	1.33	-	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.33	-	0.33	-	1.00	3.33	2.00	0.67	1.00	0.67
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	0.33	2.00	2.00	2.00	1.00	5.67	3.67	2.00	2.00	1.33
	水痘	2.00/1.00	1.00	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-
	手足口病	5.00/2.00	-	0.33	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発疹	-	-	-	-	0.67	0.33	-	-	0.67	-	-	0.33
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

★第14週に関しては、川薩・出水ともに注意報・警報域の疾患はありませんでした。

★新型コロナウイルスに関する参考資料

新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

(とう) サル痘とは？

2022年5月以降、これまで主にアフリカ大陸で発生が報告されていた「サル痘」の患者について、欧米を中心に感染事例が報告されており、国内でも感染者が確認されました。

サル痘はどのような病気ですか？

- サル痘はウイルスによって感染する病気です
- 一般的には発熱や発疹（ほっしん）、リンパ節のはれ等の症状がみられますが、多くの場合、2－4週間で自然になおります

サル痘はどのように感染するのですか？

- 感染した人や動物の皮ふの病変・体液・血液との接触（性的接触を含む）が中心です（患者と長時間、近距離で対面することでの飛まつ感染もあります）。新型コロナウイルス感染症と異なり、人から人への感染は容易には起こりません
- WHOによると、現在報告されている患者の多くは男性であり、そのほとんどが男性同士の性的接触がある男性ですが、女性や小児の感染も報告されています
※特定の集団や感染者、感染の疑いのある者等に対する差別や偏見は、人権の侵害につながります

どのような症状に注意すればよいですか？

- 体の部位に関係無く、発疹や水ぶくれなどがないかどうかが注意してください（特に顔、口、手足、肛門、性器、臀部（尻）での発生に注意してください）
- その他、発熱、頭痛などの症状が見られる場合があります
- 水ぼうそうなどの他の発疹を生じる病気との区別が難しいことがあります

予防法や治療法はありますか？

- 多くの場合、2－4週間で自然になおります。
- 天然痘ワクチンが、サル痘ウイルスにさらされた後の発症の予防や重症化予防に有効とされています。我が国では、サル痘ウイルスにさらされた可能性のある方に対してワクチンを投与するための臨床研究体制を整えています。また、サル痘の患者には臨床研究で治療薬を投与できる体制も整えています

サル痘を疑う症状があった場合はどうすればよいですか？

- サル痘を疑う症状が見られた場合、最寄りの医療機関に相談してください
- 医療機関を受診する際には、マスクの着用や発疹部位をガーゼなどでおおう等の対策をした上で受診してください

その他の情報について

- 厚生労働省HP：https://www.mhlw.go.jp/stf/scis/kenkou/site/fuyma/kenkou/kekaku-kaensenshou19/monkeypox_00001.html
- 厚生労働省検疫所HP：<https://www.forth.go.jp/tooics/moment5.html>
- 国立感染症研究所HP：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kaensentohenshi/408-monkeypox-intro.html>
- 外務省HP：<https://www.mof.go.jp/>

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！ (3ない運動)

持ち込まない

利用者

監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部副部長

- 通所サービスは、体調が悪い時は利用を控えよう
- 家族の体調や、県外との往来にも気をつけよう

持ち込ませない

施設

- 体調の悪い職員は必ず休ませよう
- 体調の悪い入所者・職員は、早めに医師に相談を
- 面会はリモートで
- 感染リスクが高まる「5つの場面」を避けよう

【感染リスクが高まる5つの場面】

- ① 飲食を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり

拡げない

施設

- 食事の時は、距離を保って、黙って食べよう
- 職員は休憩、更衣時でもマスク着用、喫煙スペースでも会話を控えよう
- 脱衣所では、距離を保って話さない、入浴介助も会話を控えよう
- 職員はマスク着用を徹底しよう（利用者さんにも協力を）

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！

POINT!

三つの「黙」

- ① 食事の時は距離を保って黙って食べる
(会話は食事後、マスクを着けて)

黙食

- ② 職員は休憩、更衣時でもマスク着用、
喫煙所では話さない(徹底してください)

黙煙

- ③ 脱衣所では距離を保って黙って入浴
(職員は目の保護とマスクの着用)

黙浴

監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部副部長

RSウイルス感染者
が増えています!!!!

RSウイルス感染症とは... ?

RSウイルス感染症とは、RSウイルスというウイルスによる感染症で、夏～冬にかけて流行します。咳やくしゃみを介して感染しますが、それが手についてしまい、そのまま口や鼻を触ってしまった場合も感染してしまいます。

乳幼児期の初感染では重症な呼吸器症状を起こしやすく、入院管理が必要になることも少なくありません。もちろん大人にも感染しますが再度感染した場合は軽い咳や鼻汁程度であり、症状が軽くなるため、気が付かないことも...。

うっかり移してしまわないように、しっかりと予防しましょう。

正しくマスクをつけましょう



- ・鼻とマスクとの隙間がない
- ・鼻が覆われていない
- ・マスクが顔にあっていない
- ・口も鼻も覆われていない
- ・鼻と口が覆われている

マスクがないときは...



・ティッシュやハンカチなどで
口と鼻を覆う

・袖で口と鼻を覆う

・手で口や鼻を覆う

・口や鼻を覆わない